

## 第30回硬組織再生生物学会 学術大会・総会のご案内（第2報）

第30回硬組織再生生物学会学術大会・総会を下記の要領にて開催いたします。  
皆様の多数のご発表とご参加をお待ち申し上げます。

第30回硬組織再生生物学会学術大会・総会  
大会長 岡田 裕之

場所：日本大学松戸歯学部2階MDホール  
期日：2022年8月26日（金）、27日（土）

### 演題募集要領

#### 1. 一般事項

後掲の「演題抄録作成例」を参考に、演題名、発表者名、所属、連絡先、発表形式等を記入して、下記の学会準備委員会事務局宛にお送り下さい。本大会も優秀なプレゼンテーションの表彰を行います。“口演”と“ポスター”の各演題から1演題程度を表彰する予定です。特に、若い先生方は奮ってご応募お願い致します。

#### 2. 発表形式

口演形式とポスター形式の2通りです。第1希望の発表形式を抄録に記載して下さい。演題数によってはご希望に添えない事もあります。その場合、発表形式の決定は事務局に御一任下さい。

- 1) 口演形式：発表時間7分+質疑応答3分=計10分を予定しております。  
液晶プロジェクター1台（パワーポイントで作成願います）
- 2) ポスター形式：自由討論時間として1時間を予定しております。  
横90cm×縦150cm程度のスペースを予定しております。

\*発表要領の詳細は各演者の先生に別途、ご連絡申し上げます。

### 3. 抄録記載要領

1. 和文演題名，発表者氏名（代表発表者に下線），所属
2. 和文300字以内の発表内容の要旨（目的，方法，結果，考察等簡潔明瞭に）
3. 英文演題名，発表者氏名（代表発表者に下線），所属
4. 英文100 words程度の発表内容の要旨（和文の内容と一致させて下さい）
5. 連絡先
6. 希望する発表形式（口頭かポスター）

### 4. 申し込み方法

e-mailでtamamura.ryou@nihon-u.ac.jpまでwordファイルを添付してください。  
なお，3日後までに受領の返信がない場合には再度ご連絡下さい。

### 5. 問い合わせ先

〒271-8587 千葉県松戸市栄町西 2-870-1 日本大学松戸歯学部組織学講座  
第30回硬組織再生生物学会学術大会・総会  
準備委員長：玉村 亮  
E-mail: tamamura.ryou@nihon-u.ac.jp  
TEL&FAX: 047-360-9323

### 6. 締切期日

\* 2022年6月30日（木）

### 7. 理事会

日時：8月26日（金）16:00～17:30（予定）  
場所：松戸市民劇場 第1会議室

理事懇親会

日時：8月26日（金）18:00～  
場所：未定

理事会および理事懇親会の詳細につきましては，各理事宛に別途メールにてご案内申し上げます。

## 演題抄録 作成例

### 口腔扁平上皮癌における 1p36 領域の LOH 解析と RIZ1 蛋白発現について

玉村 亮<sup>1</sup>, 菅野岳志<sup>1</sup>, 武部祐一郎<sup>2</sup>, 河合穂高<sup>2</sup>, 岡田裕之<sup>1</sup>, 長塚 仁<sup>2</sup>

<sup>1</sup>日本大学 松戸歯学部 組織学講座

<sup>2</sup>岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 口腔病理学分野

我々は、口腔扁平上皮癌における新規癌抑制遺伝子候補の検索を行ってきた。．．．．．  
．．．．．。本研究からは、RIZ を  
含む癌抑制遺伝子が口腔扁平上皮癌における癌化の初期に関与することが示唆され、RIZ1  
蛋白が癌の発生や進展に関与する可能性が示唆された。

### LOH analysis in 1p36 region and the immunohistochemical analysis of RIZ1 expression in oral squamous cell carcinoma

Ryo Tamamura<sup>1</sup>, Takeshi Kanno<sup>1</sup>, Yuichiro Takebe<sup>2</sup>, Hotaka Kawai<sup>2</sup>, Hiroyuki Okada<sup>1</sup>, Hitoshi Nagatsuka<sup>2</sup>

<sup>1</sup>Department of Histology, Nihon University School of Dentistry at Matsudo

<sup>2</sup>Department of Oral Pathology and Medicine, Graduate School of Medicine, Dentistry and Pharmaceutical Sciences, Okayama University

Previously, we performed genome-wide analysis for the detection of tumor suppressor gene (TSG) in oral squamous cell carcinoma (OSCC). ．．．．．  
．．．．．. The results suggest that several TSGs existed in 1p36 region were associated with the early event of OSCC carcinogenesis, and RIZ1 protein expression might play an important role in carcinogenesis and progress of OSCC.

連絡先：玉村 亮（日本大学松戸歯学部組織学講座）

松戸市栄町西 2-870-1 Tel: 047-360-9323

e-mail: tamamura.ryou@nihon-u.ac.jp

希望する発表形式：口頭発表